

交換留学帰国報告書

記入月日: 令和元年 7 月 22 日

氏 名: 遠藤 優海

留学時所属&学年: 国際地域学部 4 年

留学先大学	貿易大学(Foreign Trade University)
留学先国	ベトナム(ハノイ)
留学期間	2 学期間
留学開始一終了日	2018 年 8 月 3 日 - 2019 年 6 月 10 日

報告書上での氏名公開について (どちらかに○をつけてください。)

帰国報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

日本というひとつの国の中だけで生活していたら狭い視野のままであると感じ、自分の視野を広げるためには海外へ行くことで得られる経験や考え方が必要だと大学入学前から考えていたこと、学部のカリキュラムで留学が必須だったからです。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

留学先が決まってから準備を始めました。国際課から提示される準備リストに沿って必要な提出書類の作成や VISA 申請を進めました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

まず第一に、留学前の将来の目標が、国際協力分野に携わるというものだったので発展途上国の多い東南アジアに留学したいと思っていました。その中で、国際協力分野に進むうえで経済やマネジメント、マーケティングなどの知識が必要となると考え、それらの専門大学であるベトナムのハノイにある貿易大学に行くことを決めました。

貿易大学への派遣は私が初めてだったので情報はほとんどありませんでした。大学の情報が載っている冊子などは数年前から更新されていませんでしたが、それを参考にしたり、自分でインターネットで検索し、ベトナムを紹介しているブログなどから情報を集めました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

学部で行われた TOEFL 試験は全て受験しました。

基本的には TOEFL の参考書を解いて試験対策をしていました。加えて、先生方が授業以外で開講して下さった対策講座にもほぼ全て参加しました。私はなかなか目標点数に達せなかったため、試験前の 1 か月間、授業終わりに LDC のブースに閉館時間までこもり、そのあとは自習室や図書館でひたすら参考書を解いたりしていました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

国際課の担当の方がいつまでに何をやるのかを教えてくださいましたのでとても助かりました。あとは私は留学後半組だったので、先に留学していた友達に何があると便利かなどを聞くことができました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

留学先の大学の授業リストが最新のものではなかったため、その科目が開講されるのかどうか分からなかったため苦労しました。また、事前にシラバスが確認できなかったため科目名のみで単位交換できるかを考えなければならなかったため大変でした。

アドバイスとしては、そこまで深く考えすぎないことです。実際に授業に出席してみないとその授業内容はわかりませんし、クラスの雰囲気や先生との相性で履修を続けられるかが変わってきます。貿易大学は授業がルーズなことが多いので、渡航前はなんとなく履修したいものを選び、渡航後に最終決定することをおすすめします。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

大学のキャンパスは観光の中心地からは少し離れた場所にあります。比較的発展した場所にあります。周りには学生が利用しやすい飲食店やカフェ、ダイソーが入っているショッピングモールもあるので便利な立地です。

キャンパスは狭く、様々な学部があるので敷地内はいつも学生でにぎわっています。キャンパス中央にある高いビルで留学生は授業を受けることが多いです。キャンパス内では頻りにイベントが行われていて活気があります。

学生の雰囲気はクラスにもよりますが、あまり授業へのモチベーションは高くないかもしれません。授業開始時間がルーズなので、朝が早い 1 限や昼食後の 3 限は学生の集まりが悪い

です。学生はみんな優秀ですが、GPA を維持するためにテストやグループワークにだけ力を入れる傾向があります。自分が想像していたよりもグローバルな受け入れ態勢がある大学ではなかったように思います…。また、最近は取り締まりが強化されてきましたが、テストのカンニングが多いことに驚きました。テスト中の私語はもちろん、仲良しグループで各自勉強分野を分けてテスト当日に解答を回したり、スマートフォンを持ち込む学生もいます。高いモチベーションを持った学生と良質な授業を受けたいという方にはあまり向いていないかもしれません。



2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

大学内の設備はいいとは言えません。Wifi はつながらないことも多く接続がかなり悪いです。利用できるスポーツ施設等もなく、小さな食堂とパン屋がある程度です。図書館や自習室もありますがエアコンがなく、利用しづらいと聞きました。私はキャンパス内にある、VJCC という JICA が運営している施設にある図書館に登録し(年間 15 万ドン、約 750 円)テスト前などに自習室として利用していました。

学習支援等も特にありませんでした。大学の国際課(DIA)もあまりサポートしてくれないので自分で行動する必要があります。質問や要望などはしっかり自分から伝える必要があります。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

参加していません。

いくつか国際課(DIA)から留学生が入れるサークルの案内がありましたが、基本的に貿易大学内のサークルや部活は留学生を受け入れてくれないところがほとんどなので参加している留学生はほぼいない印象です。

私も日本語サークルに入ろうと思いましたが、日本人は入れないと言われてしまいました。

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Basic Sociology (Vu Thi Thanh Huong)●時間数/週(単位数): 145 分/週 2 回 (3 単位)●クラスの学生数: 約 80 名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 基本的な社会学の授業です。様々な考え方のベースを学び、それらのケーススタディなどを確認します。教授がパワーポイントを使用しながら授業を行うレクチャーベースの授業です。その日の授業のテーマによっては学生が自分の意見や経験を発表するように指名されることも多いです。2 年生の授業だったためか私の受けたクラスは授業中に騒がしいことが多く少し微妙なクラスでした。 中間・期末試験ともにペーパーテストで、最後はグループ課題としてレポート提出が必須です。
2	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Macroeconomics (Hoang Xuan Binh)●時間数/週(単位数): 145 分/週 2 回 (3 単位)●クラスの学生数: 約 100 名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 基本的なマクロ経済の授業です。教授がパワーポイントを使用しながら説明し、練習問題を挟みながら授業が行われます。ディスカッションや学生の発言が求められることはあまりありません。 ただ、この授業の担当教授があまり良い方ではなく、留学生だと説明しても基本的にベトナム語で授業をされました。この教授が突然授業を放棄し、3 回目の授業からは別な教授が代わりに来て授業を行ってくれ、代替りの教授は良い方だったのでしっかり英語で授業を行い、留学生にも配慮してくれました。 中間試験の代わりにグループプレゼンが求められます。約 6 人のグループで自分たちでテーマを決め 15 分ほどのプレゼンを行います。期末試験はペーパーテストです。
3	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Principles of Marketing (Phạm Thị Minh Châu)●時間数/週(単位数): 145 分/週 2 回 (3 単位)●クラスの学生数: 約 80 名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): マーケティングの基本を学ぶことができます。基本的に教授がパワーポイントで説明を行うレクチャー形式で、何回か学生が指名され意見を述べるよう求められます。毎回よく準備された授業で優しい若い女性の先生でとてもいい方でした。留学生が多い授業だったのもあり柔軟に対応してくれました。 中間・期末試験ともにペーパーテストで、グループプレゼンがあります。約 8 人のグル

	ープでマーケティングのある考え方を使用し会社を分析するという内容でした。
4	<p>●科目名(担当教員名): Organizational Behavior (Đỗ Thị Thanh Hương)</p> <p>●時間数/週(単位数): 145分/週2回(3単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 50 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>組織論の授業で組織の中の個人が持つ考え方や感情、従業員のモチベーションについてなどを学ぶことができます。教授がパワーポイントで説明するレクチャー形式で進みますが、学生が自主的に意見を述べる機会が多くある授業です。学生が発表すると教授が付箋を渡し、その枚数分ボーナスポイントがもらえる仕組みでした。</p> <p>中間試験の代わりにグループプレゼンがあります。6~8人グループで映画のワンシーンからその組織に出てくる人物がそれぞれどのような役割を担っているかなどを分析し、発表します。期末試験はペーパーテストです。</p>
5	<p>●科目名(担当教員名): Human Resource Management (Duong Thi Hoai Nhung)</p> <p>●時間数/週(単位数): 145分/週2回(3単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 60 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>組織における人材のマネジメント方法を学びます。組織形態の種類や社員のモチベーションの上げ方、雇用方法などを勉強します。教授がパワーポイントで説明し、たまに学生の意見が求められます。授業中は厳しいですが、真面目な教授で留学生にも優しく丁寧に対応してくれます。提出物や必要な書類の準備に厳しいです。</p> <p>中間・期末試験ともにペーパーテストです。それ以外にグループワークがあり、2回ほどレポート課題があります。ひとつの会社の別の部署の求人内容を探し比較したり、与えられたトピックについてレポートをまとめるというものでした。</p>
6	<p>●科目名(担当教員名): Economic Globalization (Le Kieu Phuong)</p> <p>●時間数/週(単位数): 145分/週2回(3単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 80 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>国際経済の歴史から始まり、WTOなどについて詳しく学ぶことができます。経済の授業というよりは歴史の勉強に近かったように思います。教授がパワーポイントを使ってレクチャーを行います。基本的に学生の発言機会は無く、教授がひたすら話しているスタイルです。</p> <p>中間試験の代わりにグループプレゼンがあります。テーマは自由でグループごとに決め、それについて12分ほどでプレゼンを行います。期末試験はペーパーテストです。</p>
7	<p>●科目名(担当教員名): Intercultural Communication (Gary Ruud)</p> <p>●時間数/週(単位数): 145分/週5回(3週間集中)(3単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 100 名</p>

	<p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>FTU が提携しているアメリカの大学から来た先生が行う集中講義です。集中講義は毎日1コマ授業があるので少し大変に感じるかもしれません。異文化コミュニケーションの授業で、留学生は意見を求められやすいです。レクチャーベースですが、ミニゲームをやったり少し低学年向けの授業感がありました。</p> <p>中間・期末試験ともにペーパーテストです。その他に個人レポートが2つあります。</p>
8	<p>●科目名(担当教員名): Management Studies (Hoang Anh Duy)</p> <p>●時間数/週(単位数): 145 分/週 2 回 (3 単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 120 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>経営学の基礎の授業です。マネジメントの基礎から戦略、組織、リーダーシップ、モチベーションなどについて学びます。教授がテレビに出演しているベトナムで有名な MC なので人気の授業のようで学生数が多いです。10人ほどのグループに分けられ毎回グループごとに座って、教授が出すクイズに答えて点数を競っていくようなゲーム間の強い授業スタイルです。MC で多忙のため多々休講になります。</p> <p>中間試験の代わりにグループプレゼンを行います。映画のワンシーンを選び、その人物のリーダーシップまたはモチベーションについて分析します。プレゼンに加えそれについてのレポートも提出します。期末試験はペーパーテストです。</p>

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

各クラスにモニターという学級委員のような学生がいるので、まず最初にその学生の連絡先を入手していました。その学生が教授との連絡をしているので、授業の連絡や授業スライドの共有をしてくれます。また、基本的にどの授業でもグループワークがあるので、どこかしのグループに交渉して入れてもらう必要があります。貿易大学はクラスごとに授業を受けているので、すでに固定されたグループがあったりするので留学生がグループに入れてもらうのは少し大変な時があります。その場合はモニターや教授に相談していました。

自分が留学生であることを教授に認知してもらうように心がけていました。留学生がいなくて英語開講科目であってもベトナム語を使用する教授もいるので存在を知ってもらうことが重要です。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

授業で使用しているスライドやシラバスを入手するのが少し大変な時がありました。お願いしたらしっかり送ってくれるモニターもいればそうではないモニターもいるのでその場合はまた催促したり、同じグループの子に聞いてみたりしました。

休講の案内が来るのが遅いのでそれを知らずに教室に行ったら誰もいないということがあったりしました。基本的にどのクラスも Facebook グループがあり、そこで連絡があるのでそこを注

意深く確認していました。

基本的に FTU の授業はイレギュラーなことが多いのでそこまで期待せず、半分諦めの境地で授業を受けていました(笑)「日本だったら～」などを考えるのは辞めて、自分から情報を集めに行ったり、周りの子に話しかけたりしてその都度対応していくことが大切だと感じました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

基本的には講義形式の授業が多く、教授がスライドを使って説明するスタイルです。教授の中には毎回学生を指名して意見を述べさせたり、ミニグループワークを行う人もいます。1 クラスの人数が多いので、ディスカッション形式の授業はあまりありませんでした。

日本と同じような授業スタイルだったので違和感はありませんでしたが、単調に授業が進むだけなので退屈に感じました。日本ではグローバルアプローチの授業スタイルが小人数授業でディスカッション多めだったので、このようなスタイルの方がいいなと感じました。日本にいるときよりも英語を話す機会が減ってしまいました。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

上記で紹介した Marketing や Human Resource Management の教授はとてもいい方でした。ただ、FTU の授業は同じ授業を複数の教授が担当しており、誰が担当になるのか事前に確認できないので行ってみたいという先生かいい授業か判断できません。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(1)人部屋
寮・アパート名	個人経営のローカルアパート
家賃に含まれた費用	<input type="checkbox"/> 光熱費 <input type="checkbox"/> 水道代 <input type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他 ()
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) 洗濯機、洗濯物干し場

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

大学周辺

ショッピングモール、ATM、カフェ、飲食店

大学から徒歩 15 分ほどのエリアにキンマー(Kim Ma)という日本人街があり、日本食レストランがたくさんあります。最近そのエリアに Tomibun という日本スーパーができたので、日本の食材や雑貨が手に入れやすくなりました。

住居周辺

コンビニサイズのスーパーが徒歩 2 分のところにあります。飲食店はあまりなく、家周辺で外食することはなく、自炊をしていました。バス停が近くにあるので便利です。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地銀行は開設せずに、クレジットカードのキャッシングをメインで利用していました。家賃が現金払いであったりとキャッシング上限に達してしまうことがあったので、そのときは親にキャッシングサポートの方に入金してもらっていました。

ショッピングモール内のスーパーで買い物したり、少し高額なものを購入するときはクレジットカード決済をしていました。

毎日使った金額を家計簿アプリに記録し支出を管理していました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

ハノイには日本スーパーやダイソーがあり、現地スーパーでも日本製品が買えるので、あれもこれも持っていく必要はなかったです。ただ、日本製品は少し高く、ダイソー商品もひとつ約 200 円するので洗濯ネットなどは日本から持参すると思います。

また、ハノイは硬水・紫外線・大気汚染の 3 大被害によって髪の毛がすごく痛みます。女性で痛みが気になる人は、シャンプーは持っていくのは大変なので、せめてヘアオイル等は持参すべきだと思います。

ハノイは四季があり夏と冬の寒暖差が激しく 12 月～2 月頃は寒いので、薄手のニットやパーカー、ダウンなどを持っていくことをおすすめします。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨 = ドン) (例: USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	約 11.8 万	食費	約 $2 \times 10 = 20$ 万
保険代	約 17 万	家賃(+光熱費)	約 $3 \times 10 = 30$ 万
予防接種・ビザ代	約 1.5 万	教科書代	約 0.5 万
交際費(外食等)	約 $1 \text{ 万} \times 10 = 10$ 万	ベトナム語教室	約 7 万
交通費	約 $0.5 \times 10 = 5$ 万	旅行代	約 30 万

JASSOの奨学金を月7万円いただいていたので自己負担は約55万円ほどですが、食費など節約しようと思えばもっと節約できると思います。私は友達と外食したりするのが楽しかったので食費はそこまで節約していませんでした。

合計: 132.8 万

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

・外国人だとわかると声をかけてくるおじさんなどがたまにいたので、できるだけ現地の学生に寄せた服装(Tシャツに長ズボン等)をしていました。基本的に誰にでも話しかけたり質問する文化なのである程度は覚悟しておいたほうがいいと思います。また、日本とは人との距離感が全く異なり、授業中は肌が触れるくらい近くに座ったりすることが普通です。そこまで仲良くない人にでもペットボトルの水をもらおうとする学生もいます(笑)

・ベトナムでは年齢差によって相手の人称が変わるので、初対面で年齢を聞くのが普通です。恋人の有無や結婚しているかなどの日本では初対面ではしないような質問もよくされます。

・基本的に学校以外は英語が通じないので、簡単なベトナム語は覚えた方が生活がスムーズです。Grabバイクなどを利用する際は必ずドライバーから電話で居場所を聞かれるので、通りの名前と建物に記載されている番号を言えると楽です。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

ハノイ市内には日本人医師や看護師が常駐している病院がいくつかあるので安心して利用できます。学内に医務室等があるかは不明です。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

留学中にお腹を壊したときに2度、咳が止まらなくなったときに1度病院に行きました。保険を利用しキャッシュレスの病院に行ったので値段はわかりません。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

医療機関で発行された健康診断書が必要だと貿易大学の書類に書いてあったので、病院で健康診断を受けました。しかし、医療機関で発行されたものでなくても問題なかったようなので、学内で受けたもので十分です。

予防接種は特にしませんでした。ベトナムではいまだ野犬が多く狂犬病の危険があるので狂犬病の予防接種はしておいた方がいいと思います。友達で実際にかまれて病院に行っただけの子がいます。狂犬病の予防接種は時間がかかるので早めに準備した方がいいですが、ハノイ市内の日系病院でも受けられます。

私は頭が痛くなることが多いので、頭痛薬を持参しました。その他にも風邪薬や正露丸、ムヒなども日本から持っていきました。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学前に期待していたことが「レベルの高い授業を受けること」と「現地の学生と深く関わること」の2点でした。当時は将来的に国際協力分野に進みたいと考えていたので、経済分野のレベルの高い授業をFTUで学ぶことにとても期待していました。しかし実際は私が想像していたものとは異なり、学生のレベルは高いものの授業への取り組み方や意識が低くがっかりしました。クラスの子たちと仲良くなろうと思ってもグループ意識が強く、なかなか輪に入れなかったりと少し苦労しました。期待とは異なる環境でかなりモチベーションが下がってしまいましたが、ここでしかできないことをやろうと思えば方針を変えて、ベトナム語教室に通ったりインターンに挑戦したりしました。思い通りにいかないことがあったりするとすぐに諦めてしまったり、やる気がなくなりがちタイプでしたが、違う方向に考え方を転換したり、臨機応変、柔軟に対応できるようになったことが成果だと思います。ベトナムでは日本のように決まったルールがあるので、その時その時で様々な判断が必要になります。留学中は思い通りにいかないことだらけで「まあ、そういうこともあるよね」くらいの心構えで過ごすことができるようになりました。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

・英語力の向上

留学に行くからには英語力を上げたいと思っていましたが、思っていたよりもアウトプットをする場が少なく一番上達したかったスピーキング力は上がりず、むしろ下がってしまった気がします。授業内で英語で話す時間もあまりなく、外では英語が通じないので自然と英語を話す機会が減っていました。早々に諦めの境地に達してしまっていたので、もっと頑張ってみようと思っていました。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

留学前に目指していた国際協力分野へ進むという目標が、留学を通して薄れてしまい現在は何を目標にしたらよいかわからなくなっているのが正直なところです。

海外への憧れや異文化を学ぶことには魅力を感じているので、別な国に行ってみようと思っています。仕事で使えるくらい英語力の向上を目指したいです。

今、私には自信を持ってできることが少なく、視野もまだまだ狭いので、様々な分野に興味を持ち知識の幅を広げていきたいです。新しいことに挑戦し、自分の可能性を広げていきたいなと思っています。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

ハノイは成長真っ只中の途上国で現在の日本にはない勢いや活気が味わえる面白い都市です。私が過ごした、たった10か月の間にも街並みは大きく変わったところも多く毎日生活していて飽きることがありません。現地の方々も優しく、仲良くなるといつも気にかけてくれます。東南アジアの治安が気になるかもしれませんが、大学付近はかなり治安がいい方で、みなさんの想像以上にハノイは発展していると思います。

そして正直なことを言うと、貿易大学を含めベトナムの大学はまだまだ発展途上で留学生にとって不便なところがたくさんあります。授業や大学の環境は期待通りとはいかないかもしれませんが、自主性や自己解決能力を身に着けることができると思います。自分の力を伸ばしたい方や試したい方にはおすすめの大学です。

そして貿易大学の授業以外にやること・やりたいことを見つけるのを強くおすすめします。留学中は非常に時間があり(私の場合はかなり暇な時間がありました(笑))、ぼーっと過ごしてしまっても構いません。日本とは異なり厳格なルールがないベトナムだからこそ自由に活動できる環境です。他国に比べインターンを雇ってくれる企業も多いので社会に出る前に海外で働く経験をした方には最適な場所だと思います。また、色々な立場の人、職種の人に出会うチャンスが多いことがベトナムの利点です。現地で活動されている方や駐在の方、留学ではなくインターンメインで来ている学生など、自分とは異なる境遇の人々と出会うことで新しい発見があったり、そこから何かにつなげることができるかもしれません。自分から行動して有意

義な留学生活を送りましょう！

少しでも私の経験や体験が皆さんの留学に役立つと嬉しいです。

